

平成24年10月5日

## 野村淳二氏（パナソニック（株）顧問）がIEC会長に選出されました

本日、IEC（国際電気標準会議）総会がノルウェー王国オスロ市で開催され、野村淳二氏（パナソニック（株）顧問）がIEC会長に選出されました。任期は2014年1月から3年間です。

IECは、電気・電子技術及び関連技術に関する国際規格を開発・発行する国際機関であり、現在、我が国を含め82カ国が会員となっています。IEC会長として同氏の活躍が期待されます。

### 1. 背景

IEC会長選挙については、本年3月にIEC会員に対して候補者の推薦依頼がなされ、多数の会員からの推薦を受けた同氏が唯一の候補者となっていました。今般開催された総会において同氏のIEC会長選出について審議がなされ承認されました。1906年のIEC発足以来、我が国からIEC会長が選出されるのは3人目となります。

### 2. 今後の予定

同氏のIEC会長としての任期は2014年1月からの3年間です。2013年はIEC次期会長として経験を積み、2014年からIEC会長としてIECを対外的に代表する活動を行うほか、総会、評議会、執行委員会等を議長として主催し、IEC活動の大切な方向付けしていくこととなります。

IECの担当分野は、電子、電気及び電磁気、電気音響、マルチメディア、通信、発電及び送配電の分野、測定及び性能、信頼性、安全及び環境等、多岐の技術分野におよび、近年、話題のスマートグリッドに関する国際標準化についてもIECが担当しています。変化の激しい世界市場の中で、安全・安心、快適な暮らしといった消費者ニーズに迅速に対応する最適な国際規格を如何に提供できるか、会長のリーダーシップが期待されているところです。なお、2014年11月に我が国で開催されるIEC東京大会も同会長の下で開催されることとなります。

経済産業省としては、我が国（日本工業標準調査会）がIECの主要会員であることに鑑み、国際標準化の推進を通じた安全・安心・快適な暮らしの創出、電気・電子産業の一層の発展のため、また、2014年のIEC東京大会の成功裏の開催に向けて、新会長のIEC運営に適切な協力を行っていく所存です。

(参考：我が国からの会長)

1977年から1979年 第22代 I E C 会長

高木 昇氏 (当時東京大学名誉教授)

2002年から2004年 第30代 I E C 会長

高柳 誠一氏 (当時東芝技術顧問)

2014年から2016年 第34代 I E C 会長

野村 淳二氏 (パナソニック(株)顧問)

(本発表資料のお問い合わせ先)

産業技術環境局基準認証ユニット

基準認証国際室長 紺野 貴史

担当：土田

電話：03-3501-1511 (内線 3428~9)

03-3501-9287 (直通)